

中部地区講習会報告（志太・榛原地区）

1 志太・榛原地区新任者研修会

- (1) 日 時 令和5年5月10日（水） 8時30分～11時30分
(2) 場 所 焼津市立大井川南小学校
(3) 参加者 志太・榛原地区通級指導教室経験3年未満の担当者 18名
(4) 研修内容

①公開授業

「からだづくり・カ行の構音指導」	幼児ことばの教室	森 三有紀
「ダとラの聞き分け・構音指導」	ことばの教室	法月 麻里
「変身プロジェクト・行動調整力指導」	まなびの教室	荒井久美子

②通級指導教室の施設参観・教材紹介

③全体協議（公開授業について）

④講話 「ようこそ通級の世界へ」	まなびの教室	荒井久美子
------------------	--------	-------

(5) 研修の様子



幼児ことばの教室



ことばの教室



まなびの教室



講話

(6) 参加者の感想

- ・私は1年目で、2日前から指導に入りました。知識が浅いうえに、緊張で何を指導しているのか自分でわかっていなかったのですが、実際の指導を見学させて頂くことでいろいろなことがつながっていく感じがしました。講話を聞き、自分が今後やるべきことが見えてきた気がして、うれしくなりました。
- ・実際に指導しているところを見せて頂いたり、通級担当者としての心構えを教えてくださいることができて、本当によかったです。自分がどう指導していけばいいのかという不安があったので、今日のような研修会はとてもありがたかったです。子どもたちのために黒子でがんばろう！という気持ちが強くなりました。
- ・中学校通級でも使える教材が多くあり、今後参考にしていきたいと思いました。①授業の組み立て②記録カードの工夫③ICTの活用④手作りのもの⑤特性に合わせた教材選び⑥教室のレイアウト（掲示）⑦通信の発行などまだまだ自分の改善がたくさん必要であることがわかりました。今年度は相談できる相手がいないので、不安の中でやっていきますが、こういう機会がすごく貴重なので、授業を見る機会が増えると有難いです。

2 第1回志太・榛原地区講習会

(1) 日時 令和5年6月7日(水) 13時00分～16時30分

(2) 場所 藤枝市立西益津小学校

(3) 参加者 志太・榛原地区通級指導教室 担当者 50名

(4) 研修内容 実技講習会「運動あそびと手作りおもちゃ」

講師 塩島清久 氏 (きのいい羊達)

(5) 研修の様子



手作りおもちゃ作成



身体ほぐし・心ほぐし



飛べ！ 牛乳パック飛行機



ボールを使った運動



(6) 参加者の感想

- ・久しぶりに楽しく身体を動かすことができました。身近な廃材を使って、子ども達の運動する力や感覚統合の力を楽しく育てることができることを知り、今後の指導にいかしていきたいと思いました。また、子ども達をやりたい気持ちにさせる言葉かけ、表情、動きなど、とても勉強になりました。
- ・塩島先生から、遊びのアイデアをたくさんいただきました。鬼ごっこはいつも全力で追いかけることばかり考えていましたが、レベルに応じた変身や顔・体の動きなど参考になることばかりでした。最近では体を器用に動かせない子が多いと伺って、遊びを通して体を動かすことの大切さを学びました。学校でいかしていきたいと思います。
- ・身近な道具や材料を使ってできる遊びをたくさん教えていただき、眼球運動の苦手な子には…、目と手の協応が苦手な子には…、粗大運動が苦手な子には…と、苦手さを抱えている子に早速使えるような楽しい遊びがたくさんありました。何よりみなさんと楽しみながら活動できたのがとてもよかったです。
- ・「楽しく遊んで、その場、その時間を共有する」と話された塩島先生の言葉は、中学生も同じです。(「遊ぶ」を「話す」にして、共通の話題・生徒の関心事を)生徒だけでなく、私たち自身も楽しむことがとっても大切なんだと再認識しました。
- ・今年から通級担当になりまだわからないことだらけですが、子ども達と遊ぶ中で信頼関係を築いていくことが大事だと、今日の研修を通して思いました。子どもにとって安心できる場所、時間になるようがんばっていきたいです。

3 第2回志太・榛原地区講習会

- (1) 日時 令和5年11月1日(水) 9:30~11:45
- (2) 場所 藤枝市立青島北小学校
- (3) 参加者 志太・榛原地区静言研会員
- (4) 研修内容 講話「学校でできるビジョントレーニング」目とカラダの発達教室 cont-e 桐生大輔氏
- (5) 研修報告

視覚機能全般と、視覚機能が弱いことによる現れについて教えていただきました。その後、視覚機能に問題を抱えた児童に対しどんな支援ができるのか、教室で使っている教具を使って説明していただきました。参加者が体験を通して学べ、実践的な研修会になりました。



(6) 参加者の感想

- ・今日は、ビジョントレーニングについて、理論だけでなく、実践も交えて勉強できてとてもためになりました。自分がやっていたことが少し足りなかったことや、逆に全然関係ないと思っていたことがビジョンにつながっていたことなど、改めて自分の指導を振り返る良い機会になりました。企画、運営などありがとうございました。明日からの指導に生かしていこうと思います。
- ・普段意識せず使っている見る力を説明していただいたおかげで、様々な動きや認知に必要なことが分かりました。児童の困り感にかなり近いものもあったので活用していきたいと思いました。活動自体も子どもの遊びの中で培われるものが多いと思う中で、現在の子たちには経験が少ないのかなと思いました。子どもが喜んでやりたくなる活動も多いので楽しみながら指導に取り入れていきたいと思いました。大変勉強になりました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。
- ・視覚発達支援について、理論面と実践面を踏まえて具体的にわかりやすく教えていただき、とても勉強になりました。指導に使う教材も、手作りできる物や、市販の物でも手作りできそうなものがあることがわかり、限られた教材費の中でも工夫次第で真似できそうでアイデアが湧いてきました。先生に教えていただいたことを、これからの指導に活かしていきたいと思いました。ありがとうございました。

4 第3回志太・榛原地区講習会

- (1) 日時 令和5年11月18日(土) 9時00分～16時00分
- (2) 場所 オンライン開催
- (3) 参加者 静言研会員 通級児保護者 35名
- (4) 研修内容 映画『注文に時間がかかるカフェ ー僕たちの挑戦ー』視聴

(5) 上映映画パンフレット

ストーリー

地音を持つ4人の若者が、おあるカフェの扉をたたいた。そこは接客の夢をもつ吃音のある若者が「目だけカフェ」役員になれる、温かいなカフェだった。

注文に時間がかかるカフェ (僕たちの挑戦)

みんなが楽しめる工夫

- 不安に配慮 吃音のある子が「誰にも争わない!」経営陣が静かめ
- 雑談の工夫 静を聴える 吃音の困難など 生活の工夫満載
- 字幕 録フォーマットや パリドフォーリー 字幕もあり

(6) 参加者の感想

- ・素敵な映画でした。仲間がいることで強くなれるんだと思いました。吃音当事者や理解者の輪が広がり、引け目を感じずに生活できる世の中になるといいなあと思います。ことばの教室担当としては、グループ指導を積極的に組んでいきたいと思いました。
- ・以前担当した園児が「先生、友達にどうしてそういう話し方なのって聞かれたから、ことばの教室で先生とお話したように、これはわざとじゃなくて話し方の癖だよって言ってあげたよ。」と話してくれたことがありました。幼児にもわかりやすく説明してあげたり、そのクラスの担任の先生が子ども達に伝えていったりすることで、吃音児の不安が減り、明るくすごせていけるのではないかと思います。「一番近いところに吃音のことがわかる人がいることが支えになった」という言葉から、家族だけでなく、まわりの皆が吃音に対する理解を深めていくことがとても大切であると感じました。
- ・感動し涙が止まりませんでした。前向きに挑戦する姿がとても印象的で、とても素敵でした。これから悩むことがあっても、吃音に対してごまかさずオープンに接していこうと思いました。(保護者)
- ・周囲の理解によって吃音当事者の生きる環境が豊かになることを、改めて感じた映画でした。この映画をきっかけに「接客をやってみよう」という気持ちに寄り添える飲食業が増えていくと良いなと思うと同時に、私たち教職員はこれから社会を担う子ども達に、「吃音」についての啓発活動をしていくことが大事だと感じました。